

平成29年度の管理運営状況(若洲ヨット訓練所施設)

指定管理者:若洲シーサイドパークグループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等												
管理状況	① 適切な管理の履行	施設設備の保守点検	<p>・施設等の点検については、日々の日常巡回点検を着実に実施し、不具合個所の早期発見と迅速な対応を通じて、利用者の安全・安心を確保した。(不具合対応件数57件 内48件は直営で処理)</p> <p>・施設補修では、お客様の安心安全を第一に、ヨット及び関連設備(ヨット運搬用ホイールローダ)修理、ヨット昇降用スロープの清掃作業等を適切に実施した。また、施設の景観維持のため、高所作業車を用いての枯枝撤去・剪定・実生木の伐採についても適宜行った。</p> <p>・施設設備の老朽化が進む中、予算の効率的な執行を図り、緊急補修やより多くの不具合に対応できるように、日々のヨットの小規模な修理やメンテナンス(写真①)、樹木管理(写真②③)やスロープ清掃(写真④)等については、スタッフ直営による作業を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>緑地維持管理 項目</th> <th>東京都仕様回数</th> <th>指定管理者実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芝生地芝刈り</td> <td>4回/年</td> <td>5回/年</td> </tr> <tr> <td>植込み地除草</td> <td>4回/年</td> <td>5回/年</td> </tr> <tr> <td>園地草刈り</td> <td>4回/年</td> <td>5回/年</td> </tr> </tbody> </table>	緑地維持管理 項目	東京都仕様回数	指定管理者実施回数	芝生地芝刈り	4回/年	5回/年	植込み地除草	4回/年	5回/年	園地草刈り	4回/年	5回/年
	緑地維持管理 項目	東京都仕様回数	指定管理者実施回数												
芝生地芝刈り	4回/年	5回/年													
植込み地除草	4回/年	5回/年													
園地草刈り	4回/年	5回/年													
② 安全性の確保	安全性の確保	<p>・本年度も様々な安全対策を継続的に実施し、年間を通じて無事故を実現した。</p> <p>(1)ヨット教室の安全・安心確保にむけた取り組み ①経験豊富なインストラクターの配置(日本セーリング連盟認定・バジジテスト中級以上) ②教室開催前のインストラクター全員でのミーティングによる情報共有の徹底(写真⑤) (当日の教室スケジュール・参加者のレベル・当日の気象及び海象情報等の確認等) ③教室開催中の無線による状況確認及び情報交換 ④リアルタイムでの気象・海象チェック ⑤監視カメラによるヨットの動向及び周辺海域の監視 ⑥受講者数に応じたレスキューボートの配置 ⑦教室で使用する艇の事前・事後点検の徹底(写真⑥)</p> <p>(2)災害時における安全性の確保にむけた取り組み 地震等の大規模災害への適切な対応に向け、現場独自の防災訓練の他、東京都の一時滞在施設としての訓練や本社と連携した情報伝達訓練など、実践的な防災訓練の実施を通じて災害時における危機管理能力の向上を図った。</p> <p>H30年2月27日 ①若洲地区【ゴルフ・キャンプ・若洲協議会との連携】の総合防災訓練(写真⑦) (避難誘導訓練やAEDの使用方法等実践的な訓練の実施) ②一時滞在施設としての受入訓練 (帰宅困難者の対応訓練やMCA無線、緊急電話等の使用訓練)</p> <p>H30年2月28日 本社も含めた会社全体での防災訓練(情報伝達訓練)</p>													
事業効果	③ 事業の取組	利用者の満足度	<p>・利用者向けアンケートでの結果、主要項目で、「大変よい」若しくは「よい」とお答えいただいたお客様の割合がいずれも9割を超え、教室運営についての高い評価をいただいた。 【「大変よい」若しくは「よい」の回答割合】 施設の総合満足度:93%、受付窓口の対応:93%、ヨット教室の内容:95%、インストラクターの対応:95%</p>												
	スポーツ振興事業の実施	<p>・スポーツ振興事業では、計画に基づき、セーリング普及に向けた若洲ヨット祭りや障がい者の体験乗船会、ジュニア育成にむけたマンスリーレガッタ等の事業を実施した。</p> <p>・障がい者体験乗船会の開催にあたっては、参加者の安全面を最優先に考え、例年の11月からより季候の良い9月に日程を変更して開催するなど、きめ細やかな調整を行った。</p> <p>・新たな取り組みとして、今後の障がい者体験乗船会の開催回数増や将来的な障がい者教室の開催を視野に、秋のヨット体験乗船会で、障がい者の方の積極的な受け入れも行った(写真⑧⑨)</p> <p>【障がい者体験乗船会 参加者数】 48名(参加者 12名、スタッフ 36名)</p> <p>【ヨット体験乗船会 障がい者参加者数】 18名(参加者 6名、スタッフ 12名)</p>													
	自主事業	<p>・本年度も計画に基づき、「ヨット体験乗船会」、「TOKYO JUNIOR YOUTH」、「高等学校ヨット部活動支援事業(写真⑩)」等の普及啓発及び育成事業を行った。運営にあたっては、年間を通じて経験豊富なスタッフによる育成指導を行っており、本年度もこの育成事業から、多くの生徒が国内外の選手権等へ出場している。</p> <p>【入賞実績】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>国際親善ヨットレース(8月/若洲海浜公園ヨット訓練所)</td> <td>25名参加</td> <td>チーム戦にて2団体優勝</td> </tr> <tr> <td>愛媛国体 420・レーザー級(9~10月/愛媛県)</td> <td>20名参加</td> <td>2位2名、入賞5名</td> </tr> <tr> <td>高校選手権大会(11月/山梨県)</td> <td>16名参加</td> <td>2位2名</td> </tr> <tr> <td>全日本OP級ヨットレース(11月/若洲海浜公園ヨット訓練所)</td> <td>15名参加</td> <td>入賞3名</td> </tr> </tbody> </table>	国際親善ヨットレース(8月/若洲海浜公園ヨット訓練所)	25名参加	チーム戦にて2団体優勝	愛媛国体 420・レーザー級(9~10月/愛媛県)	20名参加	2位2名、入賞5名	高校選手権大会(11月/山梨県)	16名参加	2位2名	全日本OP級ヨットレース(11月/若洲海浜公園ヨット訓練所)	15名参加	入賞3名	
国際親善ヨットレース(8月/若洲海浜公園ヨット訓練所)	25名参加	チーム戦にて2団体優勝													
愛媛国体 420・レーザー級(9~10月/愛媛県)	20名参加	2位2名、入賞5名													
高校選手権大会(11月/山梨県)	16名参加	2位2名													
全日本OP級ヨットレース(11月/若洲海浜公園ヨット訓練所)	15名参加	入賞3名													
利用促進への取組	<p>・本年度の新たな取り組みである不登校児童セーリング支援事業(写真⑪)や、学校プールでのヨット体験乗船を中心とした出前事業(写真⑫)を実施し、施設の有効活用を図るとともに、施設の更なるPRとセーリングの普及を推進した。</p> <p>【不登校児セーリング事業】 開催月:7月・9月 2回実施 参加数:39名</p> <p>【ヨット出前授業】 開催月:7月~8月 3回実施 参加数:60名</p>														

【作成上の注意事項】

- ・挙げていただく項目数に制限はありませんが、A4で1枚に収まるようご作成ください。
- ・ご提出いただいたプレゼンテーション資料は、評価委員会の会議資料として、後日、オリンピック・パラリンピック準備局のHPIに掲載します。